

2008/05/08

**日本核磁気共鳴学会「若手研究者渡航費助成金」
平成20年度第三回募集**

“EMBO World Practical Course 参加補助”に関するお知らせ

我が国の生体系NMR 研究の基盤強化に多大な貢献を果たされ、また本学会の創立時に理事を努められた故京極好正大阪大学名誉教授のご遺族より、本学会の若手会員の海外におけるNMR国際学会への渡航援助のためにご寄付を頂きました。理事会では、「京極記念基金」として年間数名の若手NMR 研究者に、本会の指定する国際学会への参加登録費用、及び渡航・滞在費用の一部を援助して参りました。昨年度はLAシステムズ社社長の故阿久津政明氏のご遺族より本基金にご寄付を頂き、さらに渡航援助の枠を広げることにしました。つきましては本年9月8-15日、中国北京で開催される予定のEMBO World Practical Course (http://bnmrc.pku.edu.cn/embo_2008_nmr/) に参加を希望される方の内、下記の資格を満たす方々(数名)に助成金を授与することに致しました。希望される方は下記に示す応募要領に従って書類を応募締切日までに若手研究者渡航費助成金選考委員長宛に添付書類として送ってください。

日本核磁気共鳴学会会長 阿久津秀雄

「若手研究者渡航費助成金」応募要領

応募資格：

- * 応募時に35 歳以下であること。
- * 他の旅費補助金を受けていないこと。なお、受領決定後に補助金を受けられることが明らかになった場合には、速やかに選考会宛にその旨連絡すること。
- * 所属する研究所/研究室において希望者を選考し、1名のみ応募すること。

応募書類：

- * 学会発表・論文リスト含む簡単な履歴書
- * 本会議に出席を希望する理由(原則として会議に出席する候補を優先します。会議出席申込書のコピーを助成金応募書類に付けて送ってください。)
- * 助成金が必要である理由(形式は自由)。

助成額：10万円

応募締切日：2008年5月31日(土)

応募書類送付先：若手研究者渡航費助成金選考委員長 内藤晶(naito@ynu.ac.jp)

応募問合せ先：若手研究者渡航費助成金担当理事 内藤晶(naito@ynu.ac.jp)

出村 誠(demura@sci.hokudai.ac.jp)

選考方法：

応募締切日迄に申し込みのあった応募者から、若干名の援助金受領者を若手研究者渡航費助成金選考委員会において選考し、その結果を会長名で本人宛て通知するとともにHP に掲載する。また受領者は本年度のNMR 討論会において賞状をもって顕彰する予定です。

報告義務：

本基金により助成を受けた方々は、帰国後速やかに参加報告書(形式自由)を添付メールで会長宛てにお送り下さい。なお、この報告書は学会HP 掲載、或いはニュースレターの形で会員宛てに配布されることを前提にお書き下さい。

以上